

平成 29 年 2 月 22 日

一般社団法人 日本船主協会

「環境セミナー」の開催について

当協会は、例年、海上安全や環境を巡る諸課題に関して情報の提供や問題意識の共有を目的としたセミナーを開催しております。今年度は下記のとおり環境をテーマにしたセミナーを開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

日 時： 2017 年 3 月 22 日（水） 15：15～17：40

場 所： 海運クラブ 2 階ホール（海運ビル）

講 演： 「パリ協定、荒波の船出ー推進力は民間の取り組み」

吉田典之氏（読売新聞東京本社 論説委員）

「環境規制を見据えた船用燃料の展望」

高崎講二氏（九州大学大学院 教授）

「倫理としての CSR から戦略としての ESG へ」

河口真理子氏（大和総研 調査本部主席研究員）

費 用： 無料

申込み： 添付の参加申込書に記入し FAX、または必要事項を e-mail
(mar-div@jsanet.or.jp) により事務局までご連絡下さい。
定員（120 名）に達し次第、受付を終了させていただきます。

以上

日本船主協会 環境セミナー

日時：2017年3月22日（水）

15時15分～17時40分

場所：海運クラブ 2階ホール（海運ビル）
東京都千代田区平河町2-6-4
（東京メトロ「永田町駅」4番/5番出口徒歩1分）



定員120名 ※定員に達し次第、受付を終了します（先着順）
お申込みは裏面をご参照ください

参加費無料

プログラム	
開会・主催者挨拶（日本船主協会副会長・環境委員長 小林道康）	
「パリ協定、荒波の船出—推進力は民間の取り組み」	吉田典之氏 読売新聞東京本社 論説委員
休憩	
「環境規制を見据えた船用燃料の展望」 これまでの船用燃料はどういうものだったか？ 2020年以降、燃料はどのように変遷しそうか？ 環境問題を打開する将来燃料の候補は？	高崎講二氏 九州大学大学院 教授
「倫理としてのCSRから戦略としてのESGへ」	河口真理子氏 大和総研 調査本部主席研究員
閉会 セミナー終了後、ネットワーキング・レセプション（予定）	

一般社団法人日本船主協会は、当協会のあらゆる活動においてわが国独占禁止法及び関係法令並びに諸外国の競争法令（以下「競争法」という）を十分に尊重しこれを遵守するとともに、当協会の全ての会議が競争法に照らして、問題または疑念を惹起させることのないよう努めます

<講師ご紹介>

吉田典之氏

読売新聞東京本社 論説委員



読売新聞論説委員。名古屋大学理学部卒。読売新聞入社後、甲府支局、メディア開発部、科学部などを経て現職基礎科学、工業技術、環境、教育、宇宙などを主に担当。主な著書に「ここまで来たナノテクノロジー」「「すばる」がさぐる宇宙のはて—ハワイにできた世界一大きな日本の望遠鏡」など



高崎講二氏

九州大学大学院 総合理工学研究院 熱機関工学研究室 教授



船用機関設計の企業経験もある世界でも数少ない船用機関・船用燃料の研究者で、重質燃料や天然ガスの燃焼可視化研究は世界トップレベルにある。新燃料について欧州との国際共同研究も行っている。日本マリンエンジニアリング学会会長や、国土交通省海事局による「天然ガス燃料船の普及促進に向けた総合対策検討委員会」の委員長を務めた。現在、日本海事協会テクニカルアドバイザー、海上技術安全研究所フェロー、日本船舶技術研究協会理事なども務める

河口真理子氏

株式会社大和総研 調査本部主席研究員



一橋大学大学院修士課程修了後大和証券入社。外国株式、投資情報部を経て大和総研に転籍。アナリスト業務を経て CSR 及び社会的責任投資の調査研究に従事。2010年4月より大和証券グループ本社 CSR 室長～広報部 CSR 担当部長。2011年7月より大和総研に帰任、2012年4月より調査本部主席研究員。担当分野はサステナブル投資/ESG 投資、CSR/CSV、ソーシャルビジネス、エシカル消費
国連グローバル・コンパクト・ジャパンネットワーク理事、NPO 法人・日本サステナブル投資フォーラム共同代表理事、アナリスト協会検定会員他
著書「ソーシャルファイナンスの教科書」生産性出版など

参加申し込み方法

下の参加申込書に記入しFAX、または、下記事項をE-mailにてご連絡ください

<申込・問合せ先>日本船主協会 海務部 (担当:石井)

Tel: 03-3264-7177 Fax: 03-5226-9166 e-mail: mar-div@jsanet.or.jp

貴社名	
ご所属・お役職	
ご芳名	
Eメールアドレス	
TEL	

定員に達し次第、受付を終了させていただきます。参加決定などのお知らせは致しませんが、定員を超え参加いただけない場合にこちらから連絡させていただきます。